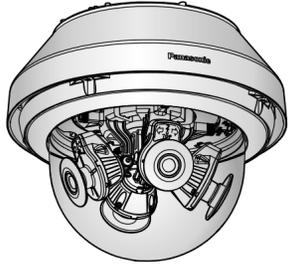


## 取扱説明書 設置編

工事説明付き 施工業者用

## ネットワークカメラ

品番 WV-X8570N / WV-S8530N



WV-X8570N



### 保証書別添付

本機に関する基本的な内容については、付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」を参照してください。本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法については以下のパナソニックサポートウェブサイト内（取扱説明書掲載ページ）の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。  
[https://sol.panasonic.biz/security/support/manual\\_dl\\_j.html](https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に付属の「ご使用前に」の「安全上のご注意」（13～15ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

## パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019

NS0518-3109 PGQX2236WA Printed in China

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でのお使いの場合に限ります。日本以外でのお使いの場合のサービスはいたしかねます。

- 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

- その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 **0120-878-410** 受付：9時～17時30分  
※携帯・PHSからもご利用いただけます。  
（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## 故障かな!?

修理を依頼される前に、CD-ROM 内の取扱説明書 基本編、パナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 操作・設定編の「故障かな!？」で症状を確かめてください。

## オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「はじめにお読みください」(Readme.txt)をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

# 保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

- **まず、お買い求め先へ** ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話 ( ) -	
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは	●製品名 ネットワークカメラ
「故障かな!？」(付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。	●品番 WV-X8570N WV-S8530N
	●故障の状況 できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用	※補修用性能部品の保有期間 <b>7年</b>
部品代	部品および補助材料代	当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。
出張料	技術者を派遣する費用	

### アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

## 記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

**X8570**：WV-X8570Nで使用可能な機能 **S8530**：WV-S8530Nで使用可能な機能

## 取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- **取扱説明書 設置編**（本書）：設置手順、取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載しています。本書はWV-X8570Nを例として説明しています。
- **取扱説明書 基本編**（CD-ROM内）：本機に関する基本的な内容（設置上のお願ひ、各部の名前など）を記載しています。
- **取扱説明書 操作・設定編**（パナソニックサポートウェブサイト内）：本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載しています。

### メモ

- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。
- 本書内で使用している「<管理番号：Cxxxx>」は、パナソニックサポートウェブサイト内で検索時に使用していただき、該当する情報へご案内するための番号です。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編（本書）	1式	CD-ROM <sup>※2</sup>	1枚
ご使用前に	1冊	コードラベル <sup>※3</sup>	1枚
保証書 <sup>※1</sup>	1式	親水コートラベル <sup>※4</sup>	1枚

- ※1 本製品には、何種類かの保証書が付属されています。それぞれの保証書は、その保証書に記載されている地域で購入された製品に対してのみ適用されます。
- ※2 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
- ※3 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようご注意ください。
- ※4 ラベルを本機の外観などに貼付けてください。

以下の付属品は取付工事に使用します。

ベース金具	1個	RJ45防水コネクターカバー	1個
アタッチメント金具	1個	RJ45防水コネクターキャップ	1個
アタッチメント固定ねじ(M4×8mm)	1個	ビット (六角対辺6.35mm T20)	1個
(うち1本は予備ねじ)	5本	4Pアラームケーブル <b>X8570</b>	1本
型紙A (アタッチメント金具用)	1枚	補助ハンドル <b>S8530</b>	1個
型紙B (ベース金具用)	1枚	ワイヤー取付金具	1個
フェライトコア <b>X8570</b>	1個	延長落下防止ワイヤー	1本
防水テープ	1個		



## 設置の前に

それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。

取付方法	取付方法の説明
2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具（付属品）を使って取り付ける	【タイプ1】
アタッチメント金具を使って天井に直接取り付ける（天井裏で配線できる場合）	【タイプ2】
ベース金具（付属品）を使って天井に取り付ける（接続管を使って配線をする場合、または裏面に配線接続のスペースが無い場合）	【タイプ3】
WV-Q122A（カメラ壁取付金具）またはWV-Q121B（カメラ天井吊り下げ金具）とWV-Q125（吊り下げ金具）を組み合わせで取り付ける	【タイプ4】

**重要**

- 設置作業中に電源が入らないようにシステムの電源（PoEハブなど）を切断しておいてください。
- **【タイプ1】 【タイプ2】 【タイプ3】**
- 天井に取り付ける取付ねじ4本（M4、JIS規格品）を別途ご用意ください。
- 取付ねじ、もしくはアンカーボルトなどの最低引抜強度は1本あたり539 N {55 kgf} を確保してください。
- ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじおよびぎは使用しないでください。
- 石こうボードなど、強度が不十分な取付場所に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。
- **【タイプ4】**
- 取付ねじ、もしくはアンカーボルトなどの情報は、それぞれの金具の取扱説明書を参照してください。

### ケーブル接続の準備をする **X8570**

アラーム入出力ケーブルやオーディオ入力ケーブルを使用する場合は、カメラ上部にねじ4本で固定されているケーブルケースを取り外し、中に収納されているアラーム入出力ケーブル、オーディオ入力ケーブルを引き出します。

**重要**

- アラーム入出力ケーブルやオーディオ入力ケーブルを使用する場合は、必ずフェライトコア（付属品）を右図の様に取付けてご使用ください。

RJ45ネットワークケーブル ケーブルケース

### ベース金具から接続管用めねじキャップ取り外す

接続管を使用する場合は、ベース金具（付属品）から接続管用めねじキャップを5mm六角レンチ（別途調達）で取り外す。

六角はJIS B4648、二面幅S=5に対応しています。接続管用めねじは、JIS C 8305（電線管ねじ）のCTG22またはJIS B 0202（管用平行ねじ）のG3/4に対応しています。

ベース金具（付属品）  
接続管用めねじキャップ

## 設置する

設置工事を 5 ステップで説明します。

Step1  
金具を取り付ける

⇒

Step2  
ケーブルを接続する

⇒

Step3  
カメラを取り付ける

⇒

Step4  
調整の準備をする

⇒

Step5  
調整する

⇒

取扱説明書 基本編（付属CD-ROM内）  
「ネットワークの設定を行う」

●カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。

### Step 1 金具を取り付ける（アタッチメント金具、ベース金具を取り付ける ※取付方法は4通りあります）

- アタッチメント金具（付属品）は刻印（PGYE1054）が、天井側に向くように取り付けてください。

**【タイプ1】 2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具（付属品）を使って取り付ける**

46 mm 83.5 mm

2コ用スイッチボックス（例：パナソニック株式会社製 品番：DS4912）

アタッチメント金具（付属品）

取付ねじ 4本（M4：別途調達）

**【タイプ2】 アタッチメント金具を天井に直接取り付ける**

型紙A（付属品）のFRONT方向（カメラ取り付け時には本体のPanasonicロゴの方向）を取り付けたい向きに合わせ、φ25.4 mmの穴をあけて取り付ける。

アタッチメント金具（付属品）

φ25.4 mm **X8570** (RJ45 ネットワークケーブル以外用)

φ73 mm<sup>※1</sup> 45 mm

φ25.4 mm (RJ45ネットワークケーブル用)

16.4 mm

FRONT

※1 2か所に穴をあけることが困難な場合は、中心にφ73 mmの穴をあけます。

取付ねじ 4本（M4：別途調達）

**【タイプ3】 ベース金具（付属品）を使って天井に取り付ける**

①型紙B（付属品）を使って、ベース金具の取付ねじ穴と配線用穴をあける。

ベース金具は、天井の状態によって次の5通りのねじ位置で固定できます。取付に使用する穴は、A～D、Fの位置で統一してご使用ください。

**A位置** 85 mm (85.7 mm)

**B位置** 138 mm

**C位置** 46 mm

**D位置** 63 mm

**E位置<sup>※2</sup>**

**F位置** 108.5 mm

※1 工事の際には型紙B（付属品）の配線用穴2か所のどちらかを選んで工事してください。  
 ※2 本機の設置には、E位置を使用しないでください。

②ベース金具とアタッチメント金具を取り付ける。

<天井の接続管を使って配線する場合>

<天井に穴をあけて裏側から配線する場合>

**重要**

- ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。
- 接続した接続管を通して建物など接続先に水が浸入しないように、防水処理をしてください。

**【タイプ4】 WV-Q122A（カメラ壁取付金具・別売り）または WV-Q121B（カメラ天井吊り下げ金具・別売り）とWV-Q125（吊り下げ金具・別売り）を組み合わせで、壁面または天井に取り付ける**

①アタッチメント金具（付属品）をアタッチメント固定ねじ4本（付属品）で、WV-Q125（吊り下げ金具）に取り付ける。（推奨締付トルク：0.78 N・m {8 kgf・cm}）

②各金具を組み合わせで設置場所に固定する。

※各金具の取り付け方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

WV-Q122A（別売り）

※以降のイラストはWV-Q122AとWV-Q125の組み合わせを例として記載しています。

アタッチメント金具（付属品）

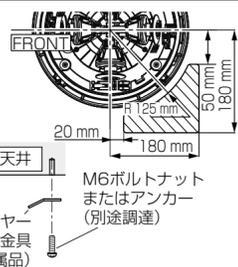
WV-Q125（別売り）

アタッチメント固定ねじ4本（付属品）

## Step 1 金具を取り付ける (落下防止ワイヤーを取り付ける)

[1] [タイプ1]、[タイプ2]、[タイプ3] の場合は、下記の手順に従ってワイヤー取付金具 (付属品) を天井に取り付ける ([タイプ4] の場合は [2] に進む)。

- カメラの取り付け予定位置の近くに、ワイヤー取付金具を固定する穴を開ける。  
※右図はカメラ取付時、ワイヤー取付金具が固定可能な範囲を示しています。この範囲内にワイヤー取付金具の固定位置を決めてください。
- ワイヤー取付金具をM6ボルトナットまたはアンカー (別途調達) で固定する。  
最低引抜強度 724 N (74 kgf)



[2] 落下防止ワイヤーを金具に取り付ける。

< [タイプ1]、[タイプ2]、[タイプ3] の場合 >  
カメラの落下防止ワイヤーのフックをワイヤー取付金具に取り付ける。

< [タイプ4] の場合 (WV-Q122A (別売り) を使って設置する場合) >  
カメラの落下防止ワイヤーのフックをWV-Q122A (別売り) のワイヤーひっかけ部に取り付ける。



## Step 2 ケーブルを接続する

[1] RJ45ネットワークケーブル [1] Ethernetケーブル (カテゴリ5e以上、ストレート)

このケーブルはWV-X8570Nのみ用意されています。

[2] アラーム入出力ケーブル [2] 4Pアラームケーブル (付属品)

これらのケーブルは使用しません。

[3] オーディオ入力ケーブル\* (白)

※必ずステレオミニプラグを使用してください。

■各ケーブルの使用条件は付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」をお読みください。

### [1] RJ45ネットワークケーブルとEthernetケーブルを接続する。

**重要**

- RJ45防水コネクタ (付属品) 部分を手順に従って正しく組み立てていない場合は十分な防水機能が発揮できません。また、RJ45防水コネクタ部分を雨や水が常にかかる場所に設置しないでください。
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでで、外形はφ5 mm～φ6.5 mmです。

- EthernetケーブルにRJ45防水コネクタキャップ (付属品)、RJ45防水コネクタカバー (付属品) の順に通し、専用工具 (別途調達) で、先端にRJ45プラグ (別途調達) をかきめず。  
●RJ45防水コネクタカバー内部のゴムは外さないように注意してください。
- RJ45プラグをカメラ側のRJ45防水ジャックに差し込みます。
- RJ45防水コネクタカバーをRJ45防水ジャックに挿し込み、[←] マークが合うまで回転させます。
- RJ45防水コネクタキャップをRJ45防水コネクタカバーとの隙間がなくなるまで回転させて固定します。

### [2] 必要な場合は4Pアラームケーブルを接続する。 (X857D)

4Pアラームケーブル (付属品)

GND (黒)	ALARM IN3 (アラーム入力3/アラーム出力/AUX出力) (灰)
ALARM IN2 (アラーム入力2/アラーム出力) (赤)	ALARM IN1 (アラーム入力1/白黒切換入力/自動時刻調整入力) (緑)

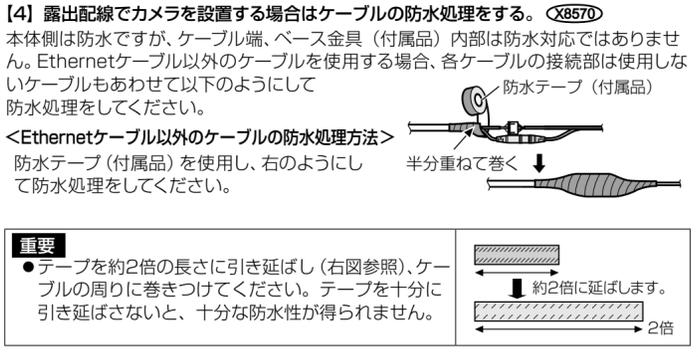
メモ

- お買い上げ時は、外部I/O端子は「Off」に設定されています。外部I/O端子の設定についてはパナソニックサポートウェブサイト内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

### [3] 必要な場合はオーディオ入力ケーブルとマイクまたは外部音声ラインを接続する。 (X857D)

[4] 露出配線でカメラを設置する場合はケーブルの防水処理をする。 (X857D)

本体側は防水ですが、ケーブル端、ベース金具 (付属品) 内部は防水対応ではありません。Ethernetケーブル以外のケーブルを使用する場合、各ケーブルの接続部は使用しないケーブルもあわせて以下のようにして防水処理をしてください。



## Step 3 カメラを取り付ける

[1] カメラ底面のアタッチメント取付ねじ (4か所) とアタッチメント金具 (付属品) の穴を合わせて、カメラを取り付ける。

カメラのPanasonicロゴの中央付近をWV-Q125 (別売) の左側の「|」に合わせて差し込み、右側の「|」まで約15°回転させて仮固定します。

アタッチメント金具を直接取り付ける場合はアタッチメント金具の爪に、ベース金具 (付属品) を使って取り付ける場合はベース金具の凸位置にカメラのOPENマークを合わせて差し込み、LOCKマークまで約15°回転させて仮固定します。

[2] ビット (付属品) を使ってドームカバー固定ねじ (4本) を緩め、ドームカバーを本機より取り外す。

**重要**

- カメラ本体から設置補助ワイヤーを外さないでください。
- ドームカバーが一時的に固定されていない状況となりますので、周囲に当たらないように注意してください。

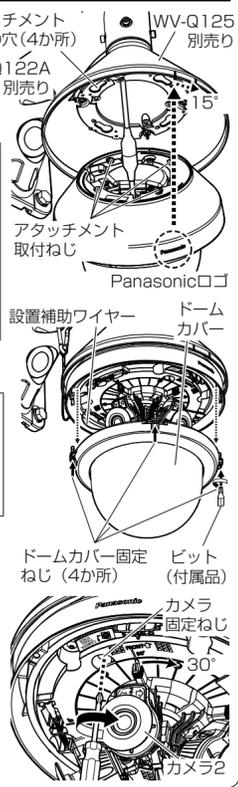
[3] カメラユニットを固定している保護用緩衝材 (2個) を取り外す。

[4] カメラ2を、本書のStep 5の右側の<水平 (PAN) 角度の調整方法>を参考にして、右図の矢印の方向に2目盛り (30°) ずらす。

[5] カメラ固定ねじでカメラを固定した後に、カメラ2を元の位置に戻します。

**重要**

- カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故の原因になります。推奨締付トルク: 0.78 N・m (8 kgf・cm)



## Step 4 調整の準備をする

[1] 必要な場合はSDメモリーカードを挿入する。

- SDメモリーカードの取り付け・取り外しについては付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」をお読みください。

[2] カメラ4の位置を確認してから方向シートを取り外す。

[3] Wi-Fi USBアダプター (別途調達) をUSB端子 (施工業者用) に取り付け、カメラの電源を入れる。 (Wi-Fi USBアダプターは施工時のみに使用)

※Wi-Fi USBアダプターを使用しない場合 (Ethernetケーブルで接続したPCで調整する場合) は取扱説明書 基本編 (付属CD-ROM内) の「ネットワークの設定を行う」を参照してカメラをネットワークに接続します。カメラのメニューで「かんたん設定」の「かんたん設置」タブを表示させてから「Step 5 調整する」に進んでください。

Wi-Fi USBアダプターは、必ず弊社で動作確認済みの製品をお使いください。Wi-Fi USBアダプターの動作確認情報については、下記のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。

<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html> <管理番号: CO114>

[4] タブレットまたはスマートフォンの設定でWi-Fiを選択し、カメラに取り付けたWi-Fi USBアダプターに接続する。

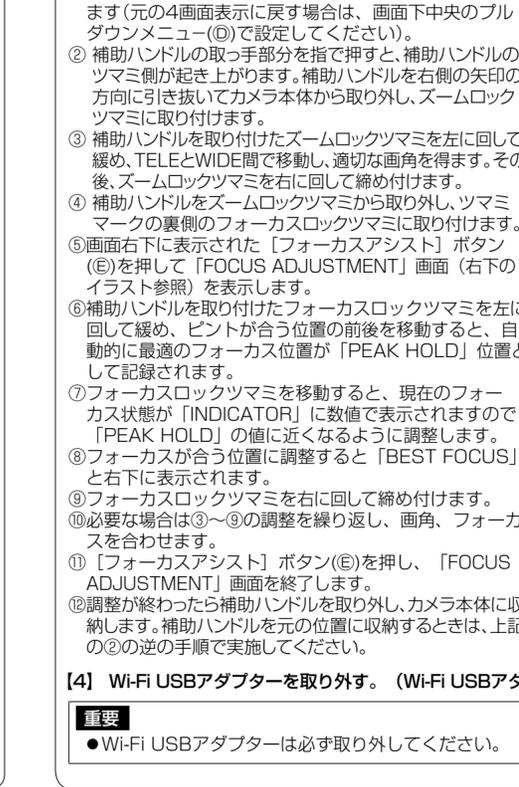
Wi-Fi USBアダプターとタブレットまたはスマートフォンの接続については、それぞれの取扱説明書を参照ください。

SSID : \*製品番\_カメラのシリアル番号\*  
パスワード: "cam\_" + カメラのシリアル番号

[5] タブレットまたはスマートフォンのブラウザを起動させ、以下のURLを入力してカメラ本体に接続する。  
<http://192.168.12.10>

※<http://192.168.12.10> で接続できない場合は、<http://10.0.0.10> で接続してください。

[6] タブレットまたはスマートフォンのブラウザにカメラの初期画面が表示される。



## Step 5 調整する ※調整の詳細、事例などはパナソニックのサポートウェブサイト (https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html <管理番号: CO115>) を参照してください。

※Wi-Fi USBアダプターを使用した場合を例として説明します。Ethernetケーブルで接続したPCで調整する場合は取扱説明書 操作・設定編 (パナソニックサポートウェブサイト内) の「簡単設置」を参照してください。

[1] カメラの設置状態を選択する。

①本機の設置場所に合わせて撮影したいレイアウトを選びます。初期画面に表示された、カメラ1～4を水平に設置する「360度撮影配置」とカメラ4を下向きに設置する「270度+真下撮影配置」の2つのどちらかを選択してください。選択して「次へ」を押すと、選択した内容に従って以下の画面が表示されます。



「360度撮影配置」を選択した場合 「270度+真下撮影配置」を選択した場合

●画面右上の「設定メニュー」ボタン (A) をクリックすると設定メニューが表示されます。設定メニューの上部のプルダウンメニュー (B) で「360度撮影」と「270度+真下撮影」を切り替えることができます。「設定メニュー」を閉じるときは設定メニューの下部の「閉じる」ボタン (C) をクリックします。

●画面下中央のプルダウンメニュー (D) で表示するカメラを切り替えることができます。(「カメラ1～4」/「カメラ1」/「カメラ2」/「カメラ3」/「カメラ4」)

### [2] カメラの向きを調整をする。

- カメラ4を下向きに設置する「270度+真下撮影配置」を選んだ場合は、右の「<垂直 (TILT) 角度の調整方法>」を参照して、カメラ4を真下に向けます。
- 右の「<水平 (PAN) 角度の調整方法>」を参照して、カメラ2が撮影したい画面の中心に向くように水平 (PAN) 角度を調整します。
- カメラ1、3、4の水平 (PAN) 角度を調整し、撮影範囲に死角が出ないようにします。
- 必要な場合は、右に書かれた調整方法を参照して、各カメラユニットの垂直 (TILT) 角度、YAW (傾き) 角度を調整します。
- 必要な場合は②～④の調整を繰り返し、各カメラユニットの向きを調整します。

メモ

- 下の [3] の①に書かれた内容を参照して1画面表示にし、[補助線表示]ボタン (E) をクリックすると、画面上に補助線を表示/非表示できます。補助線は表示されている画面の水平/垂直を確認する際の補助として使用できます。
- 「270度+真下撮影配置」を選んだ場合、撮影範囲に死角が出ないようにするには、カメラ1～3の垂直 (TILT) 角度は+30°～+65°に、カメラ4の垂直 (TILT) 角度はカメラ2に密着させるように (真下よりマイナス方向に) 調整してください。

### [3] ズームとフォーカスを調整する。 (S853D)

※YAW (傾き) 角度によっては補助ハンドルでの調整が困難な場合があります。その場合はズームとフォーカスを調整後にYAW (傾き) 角度を再度調整してください。

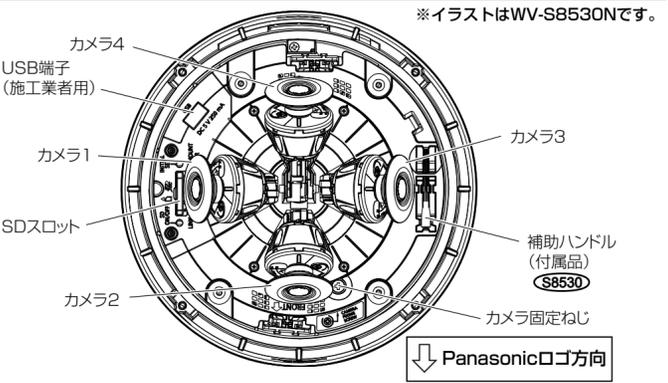
※撮影範囲に死角が出ないようにするには、ズームは、WIDE端 (x1) に調整してください。

- 「360度撮影配置」または「270度+真下撮影配置」に表示されているカメラ1～4の画面から調整するカメラユニットの画面を選んでクリックし、1画面表示にします (元の4画面表示に戻す場合は、画面下中央のプルダウンメニュー (F) で設定してください)。
- 補助ハンドルの取っ手部分を指で押すと、補助ハンドルのつまみ側が起き上がります。補助ハンドルを右側の矢印の方向に引き抜いてカメラ本体から取り外し、ズームロックつまみに取り付けます。
- 補助ハンドルを取り付けたズームロックつまみを左に回して緩め、TELEとWIDE間で移動し、適切な画角を得ます。その後、ズームロックつまみを右に回して締め付けます。
- 補助ハンドルをズームロックつまみから取り外し、つまみマークの裏側のフォーカスロックつまみに取り付けます。
- 画面右下に表示された「フォーカスアシスト」ボタン (G) を押して「FOCUS ADJUSTMENT」画面 (右下のイラスト参照) を表示します。
- 補助ハンドルを取り付けたフォーカスロックつまみを左に回して緩め、ピントが合う位置の前後を移動すると、自動的に最適のフォーカス位置が「PEAK HOLD」位置として記録されます。
- フォーカスロックつまみを移動すると、現在のフォーカス状態が「INDICATOR」に数値で表示されますので「PEAK HOLD」の値に近くなるように調整します。
- フォーカスが合う位置に調整すると「BEST FOCUS」と右下に表示されます。
- フォーカスロックつまみを右に回して締め付けます。
- 必要な場合は③～⑥の調整を繰り返し、画角、フォーカスを合わせます。
- 「フォーカスアシスト」ボタン (G) を押し、「FOCUS ADJUSTMENT」画面を終了します。
- 調整が終わったら補助ハンドルを取り外し、カメラ本体に収納します。補助ハンドルを元の位置に収納するときは、上記の②の逆の手順で実施してください。

[4] Wi-Fi USBアダプターを取り外す。 (Wi-Fi USBアダプターを使用した場合)

**重要**

- Wi-Fi USBアダプターは必ず取り外してください。



※イラストはWV-S8530Nです。

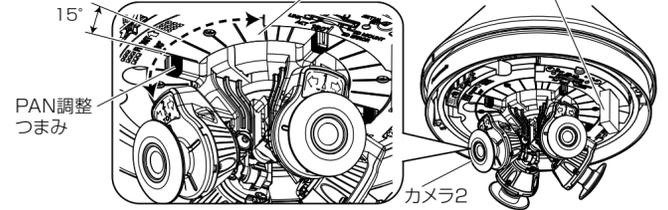
カメラ4  
USB端子 (施工業者用)  
カメラ1  
SDスロット  
カメラ2  
補助ハンドル (付属品) S853D  
カメラ固定ねじ  
Panasonicロゴ方向

以下はカメラ2を調整する場合を例に説明します。角度はすべてのカメラユニットが出荷位置の場合の調整可能範囲です。各カメラユニットの調整角度は、他のカメラユニットとの位置関係が変わります。

- 調整時にカメラのレンズ部分に触れないようにご注意ください。
- 各カメラユニットの調整位置によっては、Wi-Fi USBアダプターが画面上に入ってしまう場合があります。

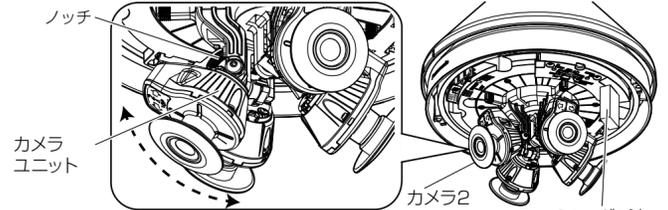
### <水平 (PAN) 角度の調整方法>

各カメラユニットの向きを変えるときは、PAN調整つまみを持って動かしてください。カメラ1～4 : ±30° (各カメラが出荷位置の場合) ノッチ間隔 : 2.5°



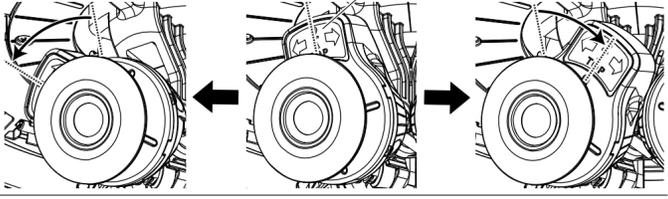
### <垂直 (TILT) 角度の調整方法>

各カメラユニットの向きを変えるときは、カメラユニット本体を持って動かしてください。カメラ1～3 : +30°～+80° / カメラ4 : -15°～+80° ノッチ間隔 : 5°



### <傾き (YAW) 角度の調整方法>

各カメラユニットの向きを変えるときは、カメラユニット本体を持って動かしてください。カメラ1～4 : ±50° ノッチ間隔 : 5°



[5] ドームカバーを取り付け、ビット (付属品) を使ってドームカバー固定ねじ (4か所) を締めて固定する。

**重要**

- ドームカバー固定ねじは必ず対角の順番に締めてください。推奨締付トルク: 1.37 N・m (14 kgf・cm)
- ドームカバーをカメラ本体にまっすぐに取り付けてください。傾いた状態で取り付けると、ドームカバーの内側がカメラユニットにぶつかり、設定した画角がずれることがあります。

[6] ドームカバーから保護シートを取り外す。

[7] 付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」の「ネットワークの設定を行う」を参照してカメラをネットワークに接続する。

